

● **内政**

**1 選挙管理委員会が総選挙の有権者数を発表**

5月4日、ザンビア選挙管理委員会は8月の総選挙における有権者数が878万6300人であると発表した。有権者のうち、女性は466万5431人（53.1%）、男性は412万869人（46.9%）、35歳以下の若年層は406万6423人（46.3%）。（ザンビア選挙管理委員会発表）

**2 RightsCon2026 の事実上中止を国連特別報告者が非難**

デジタル時代における人権をテーマにした世界最大級の国際会議「RightsCon Global Summit 2026」をザンビア政府が開催直前に延期したことについて、国連平和的集会及び結社の自由への権利に関する特別報告者のジーナ・ロメロ氏は「事実上の中止であり、基本的人権と自由に対する重大な侵害である」と非難した。（5月6日付 Daily Nation）

**3 総選挙に向け内閣・国民議会が解散**

総選挙投票日である8月13日の90日前にあたる5月15日、憲法の規定に従い内閣及び国民議会は解散した。（4月9日付 News Diggers）

**4 大統領、次期大統領選に正式に立候補**

5月22日、ヒチレマ大統領はムルングシ国際会議場においてザンビア選挙管理委員会に対し次期大統領選への正式な立候補手続を行った。副大統領候補には現職のナルマンゴ氏を指名した。（5月22日付 Lusaka Times）

**5 国家開発統一党が国民議会の5議席を無投票で確保**

5月22日15時に総選挙の立候補が締め切られ、与党国家開発統一党（UPND）の国民議会議員候補5名が、それぞれの選挙区に他の立候補者

がいなかったため、無投票で当選したと宣言された。（5月23日付 Zambia Daily Mail）

● **外交・対外関係**

**1 外相、二国間会談のためモロッコを訪問**

ハインベ外務・国際協力大臣は5月7日、モロッコを訪問しナセル・ブリタ外務大臣と外相会談を行い、農業・鉱物・エネルギー・インフラ分野等での共同投資を進める共同声明に署名した。（外務・国際協力省プレスリリース）

**2 大統領、仏・アフリカ首脳会談出席のためケニアを訪問**

ヒチレマ大統領は5月11日から12日にかけて、仏・アフリカ首脳会談（Africa Forward Summit）に出席するためケニアを訪問した。12日にはケニアのウィリアム・ルト大統領と首脳会談を行い、経済・物流・エネルギー分野での連携強化を確認した。（外務・国際協力省及びグリーン経済・環境省プレスリリース）

**3 大統領、駐ザンビア米臨時代理大使の表敬を受ける**

5月27日、ヒチレマ大統領は4月末に離任した前駐ザンビア米国大使の後任を務めるミッチ・コーカー臨時代理大使による表敬訪問を受けた際に会談し、今後は経済協力を重点を置きたいとの考えを示した。（大統領府プレスリリース）

**4 大統領、詐欺容疑の駐エチオピア次席大使を解任**

職権乱用と中国人投資家から50万米ドルを詐取した疑いで麻薬取締委員会はトム・ミケロ駐エチオピア次席大使を逮捕した。不正が明らかになったことを受け、大統領は同次席大使を解任した。（5月30日付 News Diggers）

（了）